

# 2021年度 第2回 子育て茶話会を開催しました

7月17日、第2回子育て茶話会を開催しました。7月3日に予定しておりましたが、休校のため延期とさせて頂きました。急な変更により参加できなかった皆様、申し訳ありませんでした。今回は保護者5名・教職員5名の計10名での開催となり、人数が少なかつたためブレイクアウトルームは作らず、全員でフリートークを行いました。夏休みの過ごし方や、日常の子供の問題など様々なテーマで盛り上がり、短い時間でしたが子育ての合間のリフレッシュの場となりました。次回は2学期となります。保護者の皆さま、ぜひお気軽にご参加ください。



## 参加者の感想をご紹介します(抜粋)

- 今回は色々考えさせられました。今回も楽しい時間を過ごせました。今回のテーマは夏休みの過ごし方から始めて、旬な子供の問題など、短い時間でしたが多岐にわたりました。先輩、同年代、後輩の保護者の色々な意見をうかがえて勉強になりました。今回感じたことは、子供の教育、育成は学校任せではいけないということです。子供は家庭と学校の共同作業によって成長するのだと感じたのです。例えば、携帯電話のマナー、女子のスカート丈や化粧、通学路や公共交通機関でのマナーなど、朝一番子供を見送るのは家庭です。丈が短ければ「ちょっと短いんじゃない?」「化粧していいの?」の一言をかけることができます。学校でどうにかしてくれるからいいではなく、まず、家庭でできること、声かけを徹底していくべきではないでしょうか。学校から発信される子供の問題を親は気にして、子供に問いかけて、声掛けしていけば、もっと問題は解決されると思います。学校のルールを守らないことが、学校に、生徒に、先生に、社会に迷惑をかけていることを親が教えるべきではないでしょうか。我が子にも、うるさいと言われようが、これからも声掛けをしていきます。(保護者)
- 前日にいただいたメールでの参加者予定人数も少なかつたので、参加することに緊張していましたが、楽しいひとときを共有させていただき、感謝しております。参加人数が少なかつた分、先輩ママのお話もたくさん伺え、とても勉強になりました。子供が小学生の間はママ友からの情報がたくさん入り、子育てをするうえで共通のストレス発散場所がありましたが、コロナ禍では学校情報は子供からの一方通行になってしまい、できないことに不満をいだいてもコロナ禍では変えることができない事実を、逆転の発想で ZOOM やオンラインイベントを楽しめる絶好のチャンスだと思うように切り替えていきたいと思いました。(保護者)
- コロナ禍で他の保護者や先生方との関わりがほぼなくなってしまう中、zoom でしたが、茶話会を通じてコミュニケーションを取れて「安心」できました。このままで大丈夫なのか?と思いつつ、時間が流れていますが、この思いは自分だけではない、他の保護者も共有しているのだということがよくわかりました。また迷った時だけではなく、他の保護者の思いや考えを知るいい機会になっています。有難うございました。(保護者)
- 自分の頭で考え判断できる力が共通のテーマようになって、有意義でした。「休日友達の家遊びに行きたいと言って聞かないのですが、どうしていますか?」を巡っては、「保護者間の信頼関係」「各家庭の考えを子どもに伝える」高校生になって「子どもを信じて自由に決めさせる」などの親子関係が素敵でした。「幼さの残る我が子にコロナの情報を正しく伝えたい」という保護者の尊い思いに心打たれました。(教員)